神奈川大投手陣の軸となるエース中野

今季３勝している神奈川工大のエース・左腕島村

チームをけん引する関東学院大・主将長島

神奈川大学野球秋季リーグは14日から最終週に突入し、関東学院大ギオンパークで桐蔭横浜大―神奈川大、関東学院大―神奈川工大が行われる。関東大、工大、神大にリーグ制覇の可能性がある大混戦で、最終週まで上位３校が優勝争いを演じるのは2015年秋以来。８月下旬から繰り広げてきた長丁場の戦いで、最後に栄冠をつかむのはどのチームか。

優勝争い 三つどもえ

秋季Ｌきょうから最終週

関東大 投手陣に安定感

勝ち点4で単独首位に立つ関東大は、工大との最終週で勝ち点を挙げれば11季ぶり55度目のリーグ制覇が決まる。

今秋は10試合中5試合で8得点以上を挙げるなど打線は好調。ルーキーの4番関は打率4割5分9厘と当たっている。投手陣は、久保田と福本の2年生コンビが安定感抜群。主将長島は「優勝を意識せずに戦うのは難しいが、全員の力を結集させて目の前の一戦を死ぬ気で勝ち切るだけ」と王座奪還へ闘志を燃やす。

工大 初の頂点へ結束

2位工大（勝ち点3）は関東大との「頂上決戦」で連勝するか、2勝1敗でも神大が1敗すれば創部42年目の初優勝に手が届く。

主将小椋は「アウェーでの戦いになる。部員120人全員が一体となって勝利をもぎ取り、頂点に立ってマウンドで喜びたい」と歴史に名を刻む決意だ。4年生左腕の二枚看板、島村と眞下の奮起に加えて、この春ベストナインの3年下東や2本塁打の4年安齊など上級生が大一番で意地を見せられるか。

神大 連勝が絶対条件

3位神大（勝ち点3）も他力ながら逆転優勝の可能性を残す。今春王者の桐蔭大に連勝することが、2季ぶり制覇への絶対条件だ。

主将長谷川は「（好投手を相手に）ロースコアの接戦になるかもしれないが、望みはあると信じ続ける。泥くさく何が何でも連勝」と誓う。今季から4番に定着し2本塁打の政井など新戦力も台頭。エース中野を中心に、重田、百瀬、1年岩瀬と投手陣は総力戦で勝利をもぎ取りにいく。

神奈川大学野球秋季リーグ勝敗表（13日現在）

		関東大	工　大	神　大	桐蔭大	商　大	鶴見大	勝	敗	点
①	関東学院大			●○○	●○○	○○	○○	8	2	4
②	神奈川工大			●●	○○	○○	○○	6	2	3
③	神奈川大	○●●	○○			○●○	○○	7	3	3
④	桐蔭横浜大	○●●	●●			○●○	○○	5	5	2
❺	横浜商大	●●	●●	●○●	●○●		○●○	4	9	1
❻	鶴見大	●●	●●	●●	●●	●○●		1	10	0

白抜き数字は順位確定

上位3チームの優勝条件

対戦カード	チーム	
関東大 vs 工大	関東大	2連勝 / 2勝1敗 → 優勝
	工　大	2連勝 → 優勝
		2勝1敗で神大1敗 → 優勝
桐蔭大 vs 神大	神　大	2連勝で工大2勝1敗 → 優勝